

HPEフレキシブルキャパシティ： 最適なHybrid ITへの移行

今、IT担当者は、IT環境のキャパシティと設備投資額が一致しないという問題に常に直面しています。



過小なキャパシティだと、新たなビジネスチャンスを見逃す可能性があります。



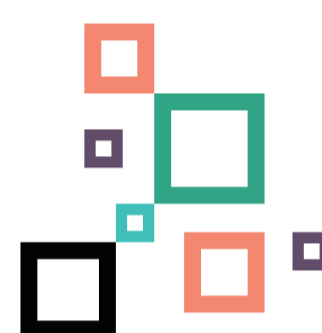
過剰なキャパシティだと、活用されない資産によって、貴重な投資が無駄になります。

今後の方向性

ITリーダーたちは機敏で、迅速、かつ、拡張可能なIT基盤を求めています：



成長に対応



新しいイニシアチブを推進

多くの企業は重要なワークロードをパブリッククラウドに移しています。一部のワークロードには、このアプローチが適切かもしれませんが、その他のワークロードは、自社のIT制御下に置くのが最適と言えます。ハイブリッドITは、オンプレミスのITインフラストラクチャにクラウドのメリットをもたらします。

HPEフレキシブルキャパシティ： ハイブリッドITソリューション

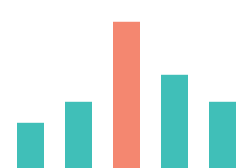
オンプレミスとクラウドの両方のメリットを併せ持つソリューションです。フレキシブルキャパシティは、オンプレミスのIT環境のためのパブリッククラウドと言えます。



月毎の使用量に基づいた従量課金制度なので、設備投資なしに容易に拡張/縮小できます。



長い調達サイクルや先行投資コストなしにビジネスを推進できます。



ビジネスの成長や、予期しない需要の急増に備えることが可能です。



eBookをダウンロードして、機敏なIT基盤の詳細な構築方法をご確認ください：

HPEフレキシブルキャパシティ：最適なHybrid ITへの移行
オンプレミスITとパブリッククラウドの両方のメリットを実現

hpe.com/flexiblecapacity